

平成29年度 第2回幼保小連携推進協議会（学識経験者、幼児教育・保育施設・小学校の教職員、保護者16名の委員からなる組織）から、今後さらに幼保小連携を進めるために必要なこととして、提言が示されました。

### — 提 言 —

#### 1. 幼児教育・保育施設と小学校の教職員は、相互理解に基づいた育ちと学びの接続のための研修内容を充実・工夫しましょう

○教職員間で目的を共有しながら、園児と児童が交流できるよう体験活動等の機会を設けましょう

○教職員同士が、互いの保育・授業を見合う機会を設ける等の工夫をしながら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するための研修を行いましょ

#### 2. 子どもたちが安心して小学校生活を始められるように、教職員と保護者、園児と児童の保護者同士の情報共有・意見交換等の機会を確保しましょう

○幼児教育・保育施設は、学校見学を働きかけたり、学級懇談会等の機会を活用したりして、教職員と保護者・保護者同士の情報共有や意見交換等に努めましょ

○小学校は園児の保護者に対し、学校見学をする機会を設け、小学校の保護者による情報提供等の機会の確保に努めましょ

# 「校区への提言」のイメージ図

提言1

研修内容の充実・工夫に向けて



幼児教育・保育施設



小学校

育ちと学びの相互理解

園児

児童

交流

<視点1>

・体験活動の機会を設ける

互恵性ある活動の展開

・教育的意義  
・指導方法

<視点2>

・教職員が目的を共有する

教職員

(幼稚園教諭  
・保育教諭  
保育士等)

教職員

保育・授業観察

<視点3>

・見合う機会を設ける等の工夫をする

見る視点の明確化

・話し合いのテーマをしぼる  
(どんな力をつけたいのか)

<視点4>

・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を  
共有するための研修を行う

# 安心な小学校生活のスタートに向けて

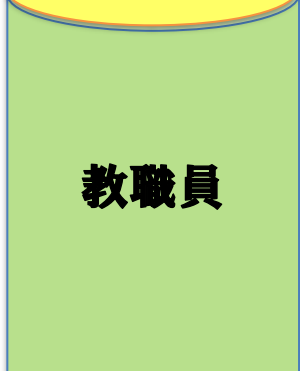


幼児教育・保育施設

保護者の不安軽減  
園児の期待を高める



小学校



- ・園児の保護者に対して  
学校見学を働きかける
- ・学級懇談会を活用する



- ・園児の保護者に対して  
学校見学する機会を設ける
- ・情報提供等の機会の確保に努める  
(入学説明会、健康診断等)